

事務事業マネジメントシート(平成22年度実績と平成23年度計画)

平成23年 6月20日更新

事務事業名		行政改革大綱・集中改革プラン進行管理事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	政策部	課長名	中村 誓丞
	施策	24	行財政改革の推進			所属課	企画課	担当者名	緒方 紀史子
	基本事業	83	計画的な施策・事業の推進			所属班	政策企画班	(内線)	1244
予算科目		会計一般	款 2	項 1	目 10	事業連番 11033	法令根拠	地方公共団体における行政改革の推進のための新たな指針(平成17年3月29)	
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 22年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 ~ 27 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	・平成18年度に策定した、5年間を計画期間とする第1期の行政改革大綱と集中改革プランの進行管理と成果の把握を行なうとともに、平成23年度からの第2期の行政改革大綱と集中改革プランの策定を行なう事務
【業務の流れ】	・集中改革プラン掲載項目毎に取組状況を担当課から調査・プランの進捗状況を把握し、把握結果に基づいた次年度以降のプラン内容の見直し・プランの進捗状況を基に、大綱の達成状況を測定・プラン・大綱の進捗状況とプランの見直し結果の公表
【主な予算費目】	予算措置なし
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	総合政策審議会から「早目々のスピード感のある改革を進めて欲しい。」「数値目標を明確に打ち出して欲しい。」との意見があった。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 22年度実績(22年度に行った主な活動)(DO)	23年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
21年度の実績と財政的な効果の調査とその結果に基づくプランの見直しと周知。	22年度の実績と財政的な効果の調査とその結果に基づくプランの見直しと周知。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア 集中改革プラン	計画
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)
行政改革大綱・集中改革プラン	→ ア プラン掲載項目 項目
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)
計画どおり進められる	→ ア プラン掲載項目実施率 %
*③成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠	
計画のプラン進捗状況を把握することで、「意図」の成果がわかる。	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	20年度実績(決算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	24年度予定	25年度見込
① 活動指標	ア 計画		1	1	1	1	1	1	1
② 対象指標	ア 項目		37	37	37	37	18	18	18
③ 成果指標	ア %		72	86	100	91.9	50	60	70
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円						
		一般財源	千円						
	(A) 事業費計	千円	0	0	0	0	0	0	0
(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	
(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	
人件費	正規職員従事人数	人	4	3	3	4	3	3	
	延べ業務時間	時間	540	500	500	430	500	500	
	(B)人件費計	千円	2,160	1,990	1,990	1,771	2,060	2,060	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	2,160	1,990	1,990	1,771	2,060	2,060	

総トータルコスト
全体計画
~27年度

(期間限定複数年度のみ記載)

事務事業名	行政改革大綱・集中改革プラン進行管理事業	所属部	政策部	所属課	企画課
-------	----------------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部（SEE）
 ＊原則は22年度の後評価、ただし複数年度事業は22年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①22年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 37項目すべてにおいて検討が行なわれ、成果はでているものの、17項目については第2期プランにおいて引き続き取り組んでいく必要がある。
	②23年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 23年度からは、第2期大綱・プランがスタートする。初年度でありため、実施率は50%と見ている。 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 23年度から第2期の大綱・プランのスタートであるため、23年度の向上余地（達成）はないが、計画期間の平成27年度まで継続して実施する必要があり、成果も向上していくと思われる。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 大綱・プランの進行監視はこの事業でしかできない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 事業費の計上はない。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 プラン掲載項目関係課との連携をよくすることで、取りまとめ等にかかる時間の削減は可能。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 行政内部の監理事務であり適正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 分担は適正である。

3 評価結果の総括（SEE） ＊事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

22年度は第1期の大綱・プランの成果の取りまとめと併せて、第2期の大綱・プランの策定作業を行ない、23年3月に策定することができた。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

<p>(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/>事業のやり方改善（有効性改善） <input type="checkbox"/>事業のやり方改善（効率性改善） <input type="checkbox"/>事業のやり方改善（公平性改善） <input type="checkbox"/>現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）</p> <p>第2期の大綱・プランが策定され、23年度からの5年間の進行監視がスタートする。担当課において、5年間の実施スケジュールを作成し、毎年度の進捗状況の把握とスケジュール見直しを行ない、進行監視を行なっていく。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要）</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策</p>																						